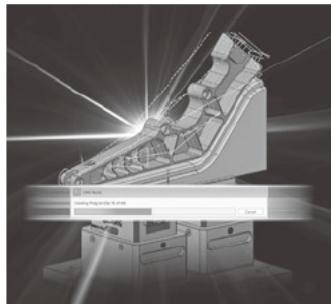


AIによるCAM支援ソフト 作業を80%削減

ジェービーエムエンジニアリング 販売開始



tercam」の日本語版を発売。昨今、負荷が高まるCAMオペレータの加工プログラム作成をAIで支援し、生産効率を飛躍的に向上させる。

同ソフトはCloud NC社が約10年間蓄積した切削加工データをもとに構築した機械学習モデルと、物理学に基づく切削理論を融合させ、クラウド上で最適な加工工程やツール選定を自動計算し、CAM作業を80%削減することで熟練オペレータの作業負荷を軽減、生産効率を5倍に向上させることもできる。

操作方法は①MastercamでCADファイルを開き、材料形状、製品形状、治具形状を設定②CAM Assistantで工具ライブラリ、加工モードを選択③AIが

加工工程や加工条件を約80%自動作成④Mastercamに搭載されたポストプロセッサでNCプログラム出力と簡単。自動作成した工程や条件も必要に応じ

CAD/CAMソリューション事業部の浪岡康宏部長は「2次元加工など単純なプログラム作成における熟練オペレータの負荷を軽減できることが大きなメリット。金型加工でも部位によってCAM操作の単純作業が多く、そうした部分をAIで効率化できる」と語り、問合わせも順調のようだ。

ライセンス提供はサブスク形式で、1ユーザーアカウントに複数のCAM環境を選択・使用可。価格はCAM Assistant Basicは初年度130万円、2年目以降100万円としている。

ジェービーエムエンジニアリング（大阪府東大阪市、06・6744・7331）はCloud NC社（英国）が開発した次世代CAM支援ソフトウェア「CAM Assistant for Mas